



2012年11月25日

くらしかた・ねっと「ネットゼミナール」
講義「対人援助の理解と実際」

1. 要援助者の理解
 - (1) 要援助者とはなにか
 - (2) 要援助者に対する固有の配慮
 - (3) 人間存在の権利保障
 - (4) 新しい対人援助の視点
 - (5) 対人援助のニーズ
2. 家庭と社会の変化
 - (1) 社会・経済の変化
 - (2) 地域コミュニティの変化
 - (3) 家庭の形態変化
 - (4) 家庭の質の変化
 - (5) 家庭機能の編機
3. 対人援助の構成
 - (1) 社会福祉の三要素
 - (2) 社会福祉の制度と方法の特質
 - (3) ウェルビーイングとは
4. 要援護者の問題行動
 - (1) いわゆる「問題行動」の意味
 - (2) 環境システムの変化（システム論の立場から）
 - (3) 要援助者理解のポイント
5. 要援助者を支援すること
 - (1) 支援者としての基本的姿勢
 - (2) 支援の目的
 - (3) 支援者の4つの適性
 - (4) 利用者への支援とは何か
6. 支援のなかで起こること
 - (1) 役に立ちたいという「善意」
 - (2) 私の知らない世界
 - (3) 表層的な悪者探し
7. 専門職としての倫理性
 - (1) ケースワークの倫理綱領
 - (2) マルトリートメントと親権
 - (3) 被措置児童の虐待 ほか